



# 全国初の試み

—自治体間連携による  
特別養護老人ホーム整備に係る  
基本合意書締結—



# 新年のごあいさつ

## 21世紀

わたしたちの住むまち

あなたと造るまち

南伊豆町長 梅本和熙

輝かしき、新年あけましておめでとうございます。町民の皆様方の御健勝と御多幸をこころよりお祈り申し上げます。

今年も未年、町民の皆様方が御承知の羊にちなんだことわざに「羊頭ようとう狗肉くにく」があります。この意味は「見かけや表面と、実際・実質とが一致しないたとえ」だそうです。

今日まで進めてまいりました政策が「羊頭狗肉」にならないように、奮闘努力することを新年の誓いといたします。

また、南伊豆町は本年度60周年を迎えます。人間の年でいえば、還暦となります。還暦は、60周年の大きな節目として、また新しい門出を祝う年でもあります。

初心に帰り、今日まで進めてまいりました政策の御報告と、さらに今年進めるべきことについて申し上げます。

### 1 石廊崎ジャングルパーク跡地等の観光開発

自然を活かした観光のメッカとして新生石廊崎の実現に向けて、ジャングルパーク跡地等の利用計画を策定するため、平成25年11月22日から平成26年3月25日まで7回のワークショップを開催し、利用構想提言書の提出を受けました。

提言書は、「誰もが行きたくなる石廊崎!!」をコンセプトに、石廊崎集落及び周辺地域まで含めた内容です。

その後、平成26年7月10日に石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画審議会が開催され、同年9月22日以降

開催されている第2次ワークショップの検討結果をもとに、本年度中に基本計画を策定することが合意され、新年度は、基本計画に基づき、具体的な事業計画を策定することになります。

今後、意見公募等町内外から幅広い御意見・御提言をいただき事業計画を策定してまいります。

### 2 健康福祉センターの建設

選挙公約でもあります健康福祉センターの建設について、町民の皆様からの御意見を伺うために平成26年5月24日ワークショップを立ち上げて、7月31日まで7回の会議を開催し、旧中央公民館跡地を建設候補地とすること、機能・整備方法等について提案を受けました。

提案内容は、子どもからお年寄りまですべての町民が気軽に利用でき、「健康」を中心とした交流、癒し、くつろぎ、食、教育などを機能として備え、大きめのホール、温泉を活用した施設整備を目指すべきとの提案でした。

ワークショップの提案を受けながら、健康福祉センター建設検討委員会を平成26年6月17日に立ち上げ、候補地の調査を含め3回の委員会を開催し、杉並区高齢者施設整備担当職員にも委員会に出席依頼し、意見を聴取し、8月22日、検討結果を「南伊豆町健康福祉センターの整備に関する提言書」として報告を受けました。

内容は「旧中央公民館跡地を整備地として、整備方法については、杉

並区と検討してまいりました特別養護老人ホームとの合築の方法により進めること」でした。

今後、提言書を尊重し、事業計画を策定いたします。

### 3 杉並区の特別養護老人ホームの建設

国は、都市部の高齢者対策のため、厚生労働省が主導し「都市部の高齢者対策に関する検討会」を立ち上げ、検討会のなかで杉並区が南伊豆町に整備を検討している特別養護老人ホーム問題についても検討して下されました。

杉並区の国民健康保険で住所地特例の適用を受けている入所者が、後期高齢者医療制度の適用を受けた場合、施設所在地の広域連合に移行しますが、引き続き住所地特例の継続が出来るよう改正される方向です。

このような中、平成26年12月11日、川勝平太静岡県知事及び田中良杉並区長の御出席のもと、静岡県庁において、静岡県、杉並区及び南伊豆町で、全国で初となる自治体間連携による特別養護老人ホーム整備に関わる基本合意書を締結いたしました。

今後、建設整備における諸問題の解決に向けて、本格的に協議検討してまいります。

### 4 地熱資源の活用＝再生可能エネルギー

町では、現在、平成26年7月に交付決定された国の「地熱開発理解促進関連事業支援補助金」及び「地熱資源開発調査事業費助成金交付事

業」を活用して、地熱資源を活かしたまちづくりを進めています。

「地熱開発理解促進関連事業支援補助金」は、三井不動産とパシフィックコンサルタンツの共同企業体、「地熱資源開発調査事業費助成金交付事業」は三井不動産、パシフィックコンサルタンツ、地熱エンジニアリングの共同企業体が公募入札により落札しました。

地熱開発理解促進関連事業は、温泉、福祉、農林業、漁業の4つのワーキンググループによる検討、平成26年9月23日、11月16日に地熱に関する専門家による勉強会の開催、秋田県湯沢市上の岱発電所、北海道森発電所の視察等を実施しています。

地熱資源開発調査事業は、地表調査のみで、掘削調査は行いません。地表調査はすでに地質調査、反射法地震探査、文献調査が行われ、現在、総合解析を行っています。温泉変動、微小地震のモニタリングについても常時行っています。

なお、新年度は町民の皆様のご理解を得て、掘削による地熱資源の解明を行いたいと考えています。

今後も、温泉のスケール対策、一元管理等を含めて、地域の課題や問題点等を検証し、勉強会を開催してまいりたいと考えています。

その上で、熱電併給等によるスマートコミュニティ・スマートタウン(※1)の建設を目指して、町民の皆様のご理解を得るため、特に温泉への影響に関する説明会等の開催を計画するなど、町民の皆様との対話を続けてまいりたいと考えています。

## 5 ワーブステイ(※2)＝夢を語りあうことのできる町

人口減少社会・少子高齢化社会の到来する30年後、100年後の未来を考えた持続可能な社会を構築することが必要であると考えています。

平成26年6月、日本創生会議・人口減少問題検討分科会が「消滅可能

性都市」を発表しました。2010年から2040年までの間に「20～39歳の女性人口」が5割以下に減少する自治体は896自治体で「消滅可能性都市」である。そのうち人口1万人以下の523自治体はさらに消滅可能性が高いとの衝撃的な発表でした。

残念なことに、「消滅可能性都市」に南伊豆町も含まれています。

「消滅可能性都市」から抜け出すための政策を我々は考える必要があります。若者が結婚し、子供を産み、子育てしやすい環境の町、そのために結婚・出産支援、子育て支援、働き方改革や多子世帯支援等を考えることが必要であります。

さらに、都市部の人々が魅力を感じる、移住を希望するまちづくりを行う必要があります。その一つの方策として、都市部のアクティブシニア(※3)に一定期間、南伊豆町に移住していただくワーブステイ構想があります。

一昨年、移住・交流推進機構で講演の機会を得ました。ワーブステイはドイツのクラインガルテン(※4)の発想と類似します。そのような方法で南伊豆町の居住者を増やす施策であり、いずれ、町民の皆様のご理解を得ながらプラチナタウン(※5)を建設してまいりたいと思います。

## 6 観光問題

昨夏、弓ヶ浜にスプラッシュウォーターパークが出現し、大いに賑わいました。また、11月には、みちくさウルトラマラソンが開催され、非常に好評でした。さらに第2のヒリゾ浜を発見しようとの動きもあります。もう一度、民宿が賑わう観光地にするための観光政策をお示しします。

## 7 一條・稲梓線道路建設促進期成同盟会の設立

平成26年5月30日、一條・稲梓線道路建設促進期成同盟会の設立総会を行いました。

設立趣旨はそう遠くない将来、起こりうるであろう南海・東南海沖地震での災害に対し、下田市・南伊豆町の相互の緊急支援・緊急援助のための「道」としての活用はもとより、下田市・南伊豆町への観光客誘致のための「道」としての活用にも大きな役割を果たすこととなります。

特に、南伊豆町にとっては、伊豆縦貫自動車道が全線開通になったとしても、アクセス道路ができなければ、「命の道」伊豆縦貫自動車道を十分に活用することは非常に困難です。

すなわち、一條・稲梓線は、伊豆縦貫自動車道と同様の重要な道であると考えます。町民の皆様と共に、国や県に実現にむけて強力で訴えていきたいと思ひます。

## 8 町民の町民による町民のための政治

結びに、以上、述べてまいりました主要な施策のほかにも、まちづくりを推進するにあたり、防災対策、有害鳥獣対策と里山づくりなど、課題は山積しておりますが、私の政治信条であります町民参加型町政「町民の町民による町民のための政治」を実現するため「いつでもどこでもミニ集会」を今後も行ってまいります。一度だけでなく、何度でも町民の皆様とミニ集会是開催いたします。どうぞ、ふるって御連絡ください。

以上、年頭にあたり、当面する課題や抱負を申し上げました。

本年も旧年以上に変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶と致します。

南伊豆町長 梅本和照

※1 エネルギー効率が高く、地球環境への負荷が小さい地域社会

※2 定年を迎えた退職者が一定期間だけ都市から地方に移住するという暮らし方

※3 団塊世代を中心に、年齢に関係なく仕事や趣味に意欲的に行動する方々

※4 滞在型市民農園運動

※5 高齢者が元気に生き活きと暮らせる町



平成26年南伊豆町議会12月定例会が12月8日から9日まで開催され、「平成26年度南伊豆町一般会計補正予算について」などが原案どおり可決されました。

## 行政報告（要旨）

### 1 町政懇談会

町では、町政懇談会を9月18日の南中地区を皮切りに10月2日まで開催し、町内6地区で町民206人の御出席をいただきました。懇談会では、(1)南伊豆町健康福祉センター整備事業について(2)地熱資源活用によるまちづくりについて(3)石廊崎ジャングルパーク跡地の利活用について(4)吉祥町有地の利活用についての4項目について町から報告を行い、町民の皆様と意見交換を行いました。

意見交換では、全国学力調査、ふるさと納税、学校統合、道路に関する御意見などさまざまな分野にわたって御意見をいただきました。

町では、町民の皆様からの貴重な御意見等を真摯に受け止め、今後の行政運営に反映してまいりたいと考えています。

### 2 地熱資源の活用

町では、地熱資源を活かしたまちづくりを進めるため、経済産業省の地熱開発理解促進関連事業支援補助金及びJOGMECの地熱資源開発調査事業費助成金による事業を実施しています。

地熱開発理解促進関連事業の勉強会として、9月23日に東北大学名誉教授の<sup>にいつまひろあき</sup>新妻弘明氏と<sup>おたり</sup>長野県小谷村副村長の<sup>おぎさわ たかし</sup>荻澤隆氏、11月16日に地熱技術開発株式会社調査役の<sup>いわたしゆん</sup>岩田峻氏、NPO法人えがおつなげて代表理事の<sup>そね はらひさ</sup>曾根原久司氏とイタリアンレストラン <sup>デル</sup>デル・

カピターノ店主の<sup>しょうじ たつひろ</sup>庄子達広氏から講演をいただきました。

地熱利用調整会議として、温泉、福祉、農林業、漁業のワーキンググループを組織し、定期的に会議を開催するとともに、先進地視察も開催しています。

見学会として、10月26日から2泊3日で17人の町民と秋田県湯沢市の上の<sup>たい</sup>岱発電所を視察し、11月4日からは2泊3日で22人の町民と北海道森発電所を視察しました。

地熱資源開発調査事業は、反射法地震探査を9月16日から10月7日まで実施し、引き続き地質調査を10月7日から10月24日まで実施しました。

また、これまで、文献調査や温泉変動調査、微小地震観測の環境事前調査を実施しています。

11月25日には温泉協同組合理事や産業団体の役員等有識者を構成員とした町地熱資源利活用検討委員会を開催し、各種調査の中間報告を実施しました。今後は、調査結果の分析をさらに進め、検討のうえ、町民の皆様へ報告したいと考えています。



### 3 石廊崎ジャングルパーク跡地の利用計画

町では、石廊崎ジャングルパーク跡地の利用計画を策定するため、町と相互協力協定を締結している千葉大学に委託し、公募による12人を含めた総勢

24人による第2次ワークショップを開催しています。

9月22日第1回ワークショップ以降12月6日開催の第4回ワークショップまで進み、石廊崎区の方々との現地視察や、模型をもとにした、跡地利用の具体化に向けた討議を行うなど、地元との情報共有化を図っているところです。

今後は、本年度末までに第2次ワークショップ及び南伊豆町ジャングルパーク跡地利用計画審議会での検討を経て、新生石廊崎の実現に向けて有意義な基本計画を策定できるよう尽力してまいります。



### 4 交流自治体フォーラム

本年11月12日、「新たな広域連携」交流自治体フォーラムが福島県北塩原村で開催されました。

このフォーラムは、東京都杉並区が主催し、杉並区と協定等を締結している各地の自治体が一堂に会して、情報交換、交流推進等を行う事業です。

基調講演では、「広域行政と自治体ガバナンス～これからの自治体・連携の可能性について」と題して、流通経済大学法学部准教授<sup>さかの よしたか</sup>坂野喜隆氏から、新しい広域行政の必要性について講演いただきました。

また、分科会では、新しい試みとして杉並区と南伊豆町の取り組みを紹介

され、双方にメリットのあるウイン・ウイン方式、それぞれの資源を活かした連携協力、人・物の交流による地域活性化、都市と地方の共存・共栄の事例として紹介されました。

今回の交流自治体フォーラムを契機として、さらなる「新たな広域連携」を推進してまいりたいと考えています。

## 5 イベントの開催状況及び観光客入込状況

### (1) OWS マスターズ

9月14日、弓ヶ浜海水浴場において、「第1回南伊豆・弓ヶ浜OWS国際マスターズ大会」が開催されました。

全国各地から135人の参加があり、うち招待選手として台湾とオーストラリアの2か国から9人の選手が出場しました。

また、前日の13日には、前夜祭「黒潮ウエルカムファンクション」を開催し、参加選手の歓迎にあたりました。

今後とも継続開催に向けて努めてまいります。



### (2) 南伊豆婚カツ

9月13日から1泊2日の日程で未婚率の低減や地域の活性化を図ることを目的とした「南伊豆婚カツ」事業を町商工会に委託して実施しました。

初日は、下賀茂熱帯植物園に集合して自己紹介を行ったあと、妻良に移動し、翌日は、石廊崎港からクルーズ船に乗り、海から見るジオパークを堪能したあと、石廊崎区コミュニティセンターで最後のアピールタイムを経て4組のカップルが成立しました。

当該事業は、なかなか結果が見えにくいイベントですが、今回は4組のカップルが成立するなど、今後の展開に期

待できるものとなりました。

### (3) 第11回フェスタ南伊豆

10月19日、湯けむりホール及び役場駐車場を会場に「第11回フェスタ南伊豆」が開催され、約2,500人もの来場者で賑わいました。

町表彰条例に基づく善行表彰者4名の表彰、町スポーツ・文化表彰に関する規則に基づくスポーツ栄養表彰者1名及び文化栄養表彰者3名の表彰、並びに社会福祉協議会から善行者1名と2団体に対する感謝状の贈呈が行われました。

その後、町長から、町の宣伝部長「いろう男爵」の着ぐるみが初披露され、参加者の笑顔を誘った後、会場に飛出して子どもたちの人気を集めました。

会場では、町内外の23団体が24のブースを出展し、地場産品等の販売、健康相談など幅広い交流活動が行われました。

また、公用車駐車場では、スポーツフェスタが開催され、野球、ゴルフ及びバランスボールをアレンジしたニュースポーツを紹介し、たくさんの子ども達で賑わいました。

今後も、秋の一大イベントとして定着し、町の活性化につながっていくことを大いに期待しています。



### (4) 東京都杉並区との交流

ア 交流自治体中学生親善野球大会

10月11日から13日まで、杉並区内において「交流自治体中学生親善野球大会」が開催され、本町からは南伊豆クラブが参加しました。この大会には、杉並区をはじめ、当区と交流する北海道名寄市、福島県南相馬市と台湾台北市からチームが参加し、交流夕食会などにより親睦を深めることができました。



イ すぎなみフェスタ2014

11月8日から9日まで、杉並区内にて行われた「すぎなみフェスタ2014」に、伊勢えびの味噌汁をはじめサザエのつば焼きや干物などの海産物を販売するとともに、開催中の伊勢えび祭りのPRも行い、人気を集めました。

ウ 台北駐日経済文化代表處の訪問

11月8日、台北駐日経済文化代表處沈代表から、杉並区長や杉並区交流自治体首長が台湾の大使館にあたる台北駐日経済文化代表處に招待を受けました。当日は、代表處の要職の皆様と意見交換を行い、今後の台湾とのインバウンド事業の推進に向けて有意義な時間を過ごすことができました。

### (5) 第1回南伊豆町75kmみちくさウルトラマラソン

11月15日、青野川ふるさと公園をスタート・ゴールとして、「第1回南伊豆町75kmみちくさウルトラマラソン」が開催されました。

当日は、全国各地からエントリーのあった450人が午前6時にスタートし、町内の海岸線や山間部の起伏に富んだコースを走り、各エイドステーション(前線応急救護所)での地元のおもてなしを受けながら最終ランナーは、午後7時30分にゴールをしました。

今回は初めての大会でしたが、参加者の約9割は町内に宿泊され、宿泊に結びつくイベントとして今後も事業実施に向けて協力していきたいと考えています。

なお、町民の皆様におかれましては、運営ボランティアをはじめ、沿道での応援や選手の走行などに御理解・御協力をいただきまして誠にありがとうございます。

観光施設等の入込状況(4月～10月)

区 分	平成26年度(人)	平成25年度(人)	前年度比(%)
宿泊施設	127,685	129,373	98.70
観光施設	84,604	86,753	97.52
温泉施設	68,688	67,988	101.03
合 計	280,977	284,114	98.90

ございました。



(6) 観光客等入込状況

7月から8月の海水浴シーズンは、弓ヶ浜スプラッシュウォーターパークの人気により昨年を上回る入込がありました。8月以降にいくつかの台風が発生が要因となり、入込数が伸び悩んだものと考えています。



6 経済対策等について

(1) 台湾トップセールス

当町では、平成23年度から海外からの誘客に向けた事業を展開してまいりました。特に台湾については、エージェントへのトップセールスを行い、旅行エージェントを招聘し、当町への誘客宣伝を行うとともに、商談会の開催などに取り組んできました。

また、台湾北海岸にあります「野柳地質公園」を視察し、経営者との意見交換を行いました。この施設は、公設民営方式で運営されており、年間75万人を集客して、入場料、みやげ品販売等で年商2億円を超える企業に成長し

ているとのことでした。駐車場前の食堂、売店には活気があり、今後、整備計画が進む「石廊崎」周辺整備に関して、非常によい手本となる可能性が高い場所であると再認識したところであります。

今回のトップセールスで得た情報を分析し、今後のインバウンド事業に結び付けてまいりたいと考えています。

(2) インバウンド事業の振興

台湾は、毎年トップセールスを行い、旅行会社へのツアー企画依頼や支援策などについての訪問などを行なってきました。

また、今年度は、伊豆東海岸国際観光モデル地区整備推進協議会の首長を主なメンバーとしてトップセールスを行い、亜東関係協会や交通部観光局、日本交流協会、旅行業組合などを訪問しました。

台湾以外につきましては、オーストラリアとの連携を深め、今夏の弓ヶ浜スプラッシュウォーターパークでは近年にない来客数を記録し、地域経済に大きな波及効果を生む結果となりましたので、来年度以降も継続して事業展開できるよう期待するものであります。



(3) 「伊豆半島まるかじりツアー」の助成等

観光協会が今年度初めて企画した「伊豆半島まるかじりツアー」事業を支援しました。

当事業は伊勢海老まつり期間中、10月から11月の週末、町内の民宿に宿泊し、石廊崎等町内観光スポットを巡る観光バスツアーを運行するもので、7週にわたり、延べ8台が東京、南伊豆間を往復しました。

このツアーには、合計368人の参加者があり、弓ヶ浜、妻良等の民宿において伊勢海老料理を堪能していただき、大変好評を博しました。

また、昨年度に引き続き、「伊勢海老号」の運行事業につきましても支援いたしました。

10月17日、18日の2日間、JR東日本株式会社、伊豆急行株式会社、株式会社南伊豆東海バスと連携して専用列車を走らせ、町内の旅館に宿泊する伊勢海老号ツアーには、288人の方々に参加いただきました。

7 災害時における応急対策業務に関する協定について

11月14日、町と社団法人下田建設業協会との間で、災害時における応急対策業務に関する協定を締結しました。

この協定は、災害時における民間協力の一環として、災害が発生した場合、又はそのおそれがある場合、町民の救助活動及び災害復旧に資するため、下田建設業協会の協力を得て、町の要請による災害応急復旧工事により、公共土木施設等の機能の確保及び回復を図ることを目的としています。

町では、町内の土木業者16社とは既に災害協定を締結していますが、賀茂地域内に土木業者の会員を有する社団法人下田建設業協会と、他の町に先駆けて協定を締結いたしました。

今後も、災害時には迅速な対応を確保することで、町民の安全・安心を図ってまいります。



平成27年1月から

# 70歳未満の方の 高額療養費制度における 自己負担限度額が変更されます



高額療養費制度とは、同一月に同一医療機関に支払った金額が下表の限度額を超えた場合、申請によりその超えた金額を支給する制度です。限度額適用認定証（住民税非課税世帯の方は「限度額適用・標準負担額減額認定証」）を提示することにより、外来・入院とも個人単位で同一医療機関の窓口での支払いは限度額までとなります。（限度額適用認定証の交付申請は、健康福祉課で行っています。）

## 変更前

所得区分	3回目まで	4回目以降※1
上位所得者	150,000円 + (医療費 - 500,000円) × 1%	83,400円
一般	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

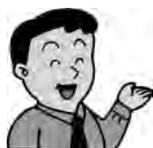
※1 過去12か月以内に、同一世帯での支給があった場合の4回目以降の限度額です。



## 変更後

所得区分	3回目まで	4回目以降
所得※2が901万円超	252,600円 + (医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円
所得が600万円超 901万円以下	167,400円 + (医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円
所得が210万円超 600万円以下	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
所得が210万円以下 (住民税非課税世帯を除く)	57,600円	44,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※2 国民健康保険税の算定基礎となる「基礎控除後の総所得金額等」のことです。



70歳以上75歳未満の方は、変更ありません。  
70歳未満の方で限度額適用認定証を発行している方は、役場健康福祉課窓口にて手続きをお願いいたします。

問合せ 健康福祉課 ☎ 62-6233

## 12/2 お兄さんと楽しく体育遊び!



元気に障害物を乗り越える子どもたち

県内を中心に体育遊び教室を開いている事業所「きのいい羊たち」による体育遊び教室が、南崎保育所で行われました。子どもたちは歓声を上げながら、ボールを使った的当て、跳び箱や鉄棒を使った体育遊びなどを行い、運動の楽しさを学んでいました。

## 12/3 寒さに負けずマラソン大会



元気よくスタートする生徒たち

南伊豆中・南伊豆東中合同マラソン大会が青野川ふるさと公園で行われ、2校の男女計189人が出場しました。時折強い風が吹くなか、生徒たちは保護者や先生の声援を受けながら、最後まで一生懸命走り抜きました。

## 12/6 走りつないだ“たすき”



県庁から一斉にスタートする一区の選手たち

第15回記念しずおか市町対抗駅伝競走大会が静岡市で開催されました。小学生から社会人までの男女11人がたすきをつなぎ、南伊豆町チームは町の部11位と健闘しました。また、2区の土屋柚選手が区間賞、6区の笠井慎選手が15回記念表彰を受賞しました。選手、関係者の皆さま、お疲れ様でした。



区間賞を受賞した土屋柚選手(左)と15回記念表彰を受賞した笠井慎選手(右)

## 12/7 防災意識の高揚を図る



消防署職員から心肺蘇生法の指導を受ける様子

地域防災訓練が町内各地で行われました。参加者たちは防災資機材の点検や、消防団や消防署職員から消火器を使った消火活動訓練、人工呼吸方法やAEDの使用方法について学ぶなど、防災意識の高揚を図りました。

## 名古屋国税局長表彰を受賞



下賀茂 山本香代子さん

平成26年11月7日、「平成26年度納税表彰」が名古屋国税局で行われ、下賀茂の山本香代子さんが荣誉ある名古屋国税局長表彰を受賞されました。

山本さんは、長年にわたり伊豆下田青色申告会女性部長および静岡県青色申告会連合会女性副部長などの要職を歴任するとともに、その活動を通じて申告納税制度の普及発展に尽力されました。

## 12/11 全国初！自治体間連携による特別養護老人ホーム整備に係る基本合意書締結



静岡県庁で行われた締結式の様子

杉並区と南伊豆町が連携して、特別養護老人ホームを整備することを合意する「自治体間連携による特別養護老人ホーム整備に係る基本合意書の締結式」が県庁で行われ、杉並区長、県知事、町長の三者間で合意書が交わされました。都道府県の枠を超えて連携した自治体同士による特別養護



役場で行われた締結の報告会の様子

老人ホーム整備は全国初となります。

また、締結の報告会が役場で行われ、杉並区長、町長から本事業の経過報告、基本合意書締結における立会者でもある東京大学名誉教授大森彌氏による講演等が行われました。

## 今月のおすすめ

## — 新着図書案内 —



「**ホンのひととき**」  
 中江有里著/毎日新聞社  
 偏読、雑読、併読、積ん読、ひとりきりになれる場所一楽しみ方いろいろあります。年間300冊の本を読み、読書家で知られる女優の初エッセイ。



「**神坐す山の物語**」  
 浅田次郎著/双葉社  
 奥多摩の御嶽山にある神官屋敷。少年だった著者が聞いた、伯母の怪談めいた夜語り。それらは怖いけれど、惹きこまれるものばかりだった。



「**悩まない**」  
 矢作直樹著/ダイヤモンド社  
 視点を変える。足るを知る。それだけで人生は輝く。救急医療の現場で命と向き合ってきた医師が語る、悔いを残さず生き切る秘訣。



「**天の光**」  
 葉室麟著/徳間書店  
 ひたむきに妻を求めて行く道に仏の心が宿ってゆく。木に仏性を見出せなかった仏師が、自ら彫り上げた仏像に光を導くまで…。



「**中国の大問題**」  
 丹羽幸一郎著/PHP研究所  
 中国の弱みに石を打て。彼らに資することはやめ、彼らを利する戦略をもて。商社マンとして30年、大使として2年半。「病める中国」迫真レポート。



「**壁と孔雀**」  
 小路幸也著/早川書房  
 警視庁SPの土壁は仕事中に負傷、休暇をとって幼い頃別れたまま亡くなった母の実家を訪ねた。初めて会う異父弟は座敷牢に籠り母殺しを告白。



「**子育てと感受性**」  
 中田基昭著/創元社  
 おぎない合う呼応とは？こころの柔らかさとは？おとなと子どものあいだの矛盾したあり方・関係・出来事をつなぐ豊かな「感受性」とは。



「**夫婦からくり**」  
 中島要著/光文社  
 ささまざまな夫婦のかたち。立て続けに起こる事件と、ちらつく行方知れずの親分の影。文治とお加代がつきとめた驚くべき真実とは…。



「**幸転力**」  
 吉瀬美智子著/小学館  
 32歳で女優デビュー、38歳高齢出産で念願の母に。いつも「遅咲き」の枕詞で語られる彼女。透明感と幸せオーラに包まれ輝きを増していく。



「**怪談**」  
 小池真理子著/集英社  
 送別会の幹事だった私は、忘れ物として黒い女性用のカーディガンを渡された。だが、それを着ていた出席者はいなかった…。

子どもを本嫌いにしない本 赤木かん子  
 デジタルコンテンツの著作権Q&A 結城 哲彦  
 そして夢職者 渡辺 力  
 「原爆の子」の父長田新 川島 弘  
 インフレ貧乏にならないための資産防衛術 村上 尚己  
 若者は本当にお金がないのか？ 久我 尚子  
 寝たきり老人になりたくない 久野 譜也  
     なら大腰筋を鍛えなさい  
 手ぬぐいスタイルブック 君野 倫子  
 家めしの王道 林 望  
 自覚 今野 敏  
 ダブル・フォールト 真保 裕一  
 十津川警部南風の中で眠れ 西村京太郎  
 砂のクロニクル 船戸 与一  
 毒唇主義 内館 牧子  
 赤毛のアン幸せになる言葉 松本 侑子

## 平成26年のベストリーダーは？

平成26年、最も多くの方に読まれた本は何でしょうか？恒例の年間ベストリーダーを発表します。

### ★フィクション

- 1位 海賊と呼ばれた男(上下) 百田 尚樹  
 3位 村上海賊の娘(上下) 和田 竜  
 5位 永遠の0 百田 尚樹

### ★ノンフィクション

- 1位 作りおきサラダ冷めてもおいしい。  
 主婦の友社編  
 2位 人生はニャンとかなる！  
 水野 敬也  
 3位 誕生日を知らない女の子  
 黒川 祥子  
 4位 ご飯のおやつふんわり、  
 しっとり、もちもち。米本かおり  
 5位 歯の本歯医者に行く前に読む  
 釣部 人裕



## 健康レシピ

### 鶏肉のレモン焼き



#### ここがポイント!

- ・レモンの風味によって、薄味でもおいしく食べられます!

なずみかい  
南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）  
問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

▷ 材料 / 2人分 ◁ （1人分エネルギー185kcal、塩分1.1g）

鶏むね肉……………140g	アスパラガス……………60g
塩……………少々	赤ピーマン……………30g
こしょう……………少々	塩……………少々
レモン（薄切り）…3～4枚	じゃがいも……………80g
	塩……………少々
	粒マスタード……………小さじ1

▷ 作り方 ◁

- ①鶏肉に塩、こしょうをふる。
- ②アスパラガスは2～3等分に、赤ピーマンは乱切りにする。
- ③じゃがいもは一口大に切ってゆでる。柔らかくなったら湯を捨てて、鍋をゆすりながら水分をとばし、塩を少々ふり、粉ふきいもにする。
- ④①にレモンをのせ、②に塩を少々ふりかけ、一緒に天板に並べてグリルで8～10分焼く。
- ⑤④を器に盛り、③、マスタードを添える。

毎月19日は食育の日!



## みなみいず探索記

地域おこし協力隊



## 移住・定住相談会



将来の南伊豆町のためにできること!



南伊豆町の将来のため、人口を1人でも増やそうと、首都圏で開催される移住相談会へ年に数回、南伊豆町も相談ブースを出展しています。

私も4月に移住してきたばかりですが、6月には東京、11月には横浜で移住の先輩として、私を感じた町の素晴らしさと人の温かさをPRしてきました。私が想像していた以上に移住希望者は多く、そして日本全国には素晴らしい場所がたくさんあります。

その中から1人でも多くの方に移住・定住してもらうためには、南伊豆町の素晴らしさを伝えるほかに、移住できる環境づくりも大切な事です。

町には空き家が多くありますが、

「南伊豆町空き家バンク登録」物件として登録されているものは少ないのが現状です。移住したいと思っている方がいても住む家がなくは移住することはできません。そのためにも、空き家をお持ちの方は、ぜひ空き家バンクへの登録のご協力をお願いします!

また、4月、12月には町のよさを実際にも感じてもらうための、「くらし現地セミナー」を行いました。首都圏での相談会で町に興味を持ち、現地セミナーに申し込まれた方もいます。このような機会に1人でも多くの南伊豆町ファンを作り、移住促進へつなげていけるように頑張っていきたいと思います。（隊員 松原）



昨年11月の相談会の様子です。多くの方々に南伊豆町ブースへお越しいただきました。

# お知らせ

## プチジオサミット @南伊豆町2015

大地の恩恵とともに生きる南伊豆町の「食べる」「体験する」「聞く」「見る」を楽しんでいただくイベントです。

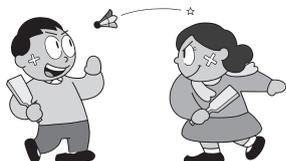
南伊豆町産のシカ肉、海産物、野菜、温泉塩を材料に使った料理をお楽しみいただき、地元産品を扱う南伊豆マルシェも予定しています。また、ジオパークや野生獣についてのトークコーナーや調理体験コーナー（親子向け）もあります。

日時 1月18日(日) 11:00~16:00  
場所 下賀茂熱帯植物園(入場無料)  
内容 調理体験等、飲食(有料)  
定員 100人程度  
問合せ 産業観光課 農林水産係  
☎62-6300

## 無料公証相談を ご利用ください

身近な問題について「公正証書」を作成しておくことで安心です。下田公証役場の公証人が、毎月第2日曜日に無料で相談に応じます。

日程 1月11日(日)  
2月8日(日)  
時間 10:00~15:00  
場所 下田公証役場(下田市西本郷一丁目2-5 佐々木ビル3階)  
相談内容 相続、遺言、任意後見、尊厳死宣言、離婚給付、年金分割、土地建物賃貸借、金銭貸借等  
\*予約制(事前電話受付)  
申込み・問合せ  
下田公証役場 ☎22-5521



## 下田高校南伊豆分校 農芸祭のご案内

日頃の学習成果の発表や農産物販売、品評会を実施します。皆さまお誘い合わせの上、ご来校ください。

日時・内容  
・1月23日(金) 13:00~15:00  
校内発表、農産物品評会審査  
・1月24日(土) 9:00~14:00  
一般公開・販売・品評会  
\*現在、一般の方々からも農産物品評会への参加者を募集しています。丹精込めて栽培した農産物を出品してみませんか。  
問合せ 南伊豆分校(石井58)  
☎62-0103

## カギかけは防犯の 基本!

みなさんは散歩や買い物などの短時間の外出や、入浴中や寝る時など、自宅にいるときもしっかりカギをかけていますか?

下田警察署管内では、昨年1月~12月15日までに空き巣(日中家の人がないときに入る泥棒)が7件、忍込み(夜間、家の人寝ている時に入る泥棒)が8件発生し、約7割がカギをかけていなかったために被害に遭っています。(速報値)

### ~被害に遭わないための対策~

泥棒は、音・光・人の目を嫌がります  
・出かける時はもちろん、入浴中や寝る時など、在宅中でも必ずカギをかけましょう。  
・庭に砂利を敷いたり、玄関にセンサーライトや防犯ブザー(泥棒に開けられると警報音が鳴るもの)を取り付けるなど、泥棒が侵入しにくい環境を作りましょう。  
・泥棒は近所の人に声をかけられると犯行をあきらめることが多いので、普段見かけない人がいたら挨拶をしましょう。

問合せ 下田警察署管内防犯協会  
☎27-2766

## 産婦人科医と考えるラ イフプランセミナー開催

日時 1月19日(月) 14:00~16:30  
場所 下田開国みなと(バイステージ)  
対象者 10~30代の女性20名  
(パートナーの参加も可能)

内容  
①産婦人科医師による妊娠・出産に関するミニ講座(排卵と月経、卵子の変化、生活習慣と妊娠、高齢出産のリスク、不妊治療の概要等)  
②情報交換会  
③希望者に対する個別相談会  
講師 伊豆今井浜病院 婦人科長 吉田麻美医師  
相談対応者 上記医師、下田市および南伊豆町栄養士  
申込期限 1月15日(木)  
申込み・問合せ  
賀茂健康福祉センター 福祉課  
☎24-2056



## 訪問介護員研修 参加者募集!

介護保険制度における在宅サービスの中心となる訪問介護サービスの中で、重要な役割を担うサービス提供責任者を対象として、介護サービスの適正な提供および質の向上を図る研修を開催します。

日程 1月30日(金)、31日(土)、2月15日(木)の3日間  
時間 9:00~16:00  
場所 みくらの里(下田市吉佐美)  
内容 訪問介護適正実施研修、技術向上研修「認知症高齢者への対応」  
受講料 無料  
申込期限 1月20日(火)  
問合せ 社会福祉法人 梓友会  
☎27-3000

放送大学4月生募集のお知らせ

放送大学では、平成27年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。

放送大学は、テレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

心理学、福祉、経済、歴史、文学、自然学科など、幅広い分野を学べます。

出願期限 3月20日（金）

\*資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学静岡学習センターまでご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。

問合せ 放送大学静岡学習センター  
☎055-989-1253

林業退職金共済制度からのお知らせです

林業の仕事をしていたことがありますませんか？林業退職金共済制度（林退共）に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べいたします。

また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに対して、各種手続（共済手帳の紛失、退職金の請求等）の必要性が生じた場合はできうる限りの範囲において、速やかに対応したいと考えておりますので、最寄の支部または本部へお問い合わせ、ご相談くださいますようお願いいたします。

問合せ 独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部  
☎03-6731-2887

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
加納	高野翔誠 <small>しょうせい</small>	10.25	輝・浩子
二條	齊藤那実 <small>なみ</small>	11.17	徹・麻子
石廊崎	渡邊海斗 <small>かいと</small>	11.22	拓海・優莉

結婚お幸せに

地区	お名前(旧姓)	婚姻日
加納	土屋勇斗・さやか(土屋)	11.7
加納	高橋研次・千愛(佐久間)	11.7

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
湊	高山美代子	81	11.6
吉祥	黒田はつ子	79	11.17
入間	山本あい	83	11.25
伊浜	稲葉靖	61	11.27
下賀茂	加田まつを	103	11.28
大瀬	山本吉夫	76	11.29
上賀茂	渡邊健二	64	11.30

平成26年11月1日から11月30日までに届出のあったもの(敬称略)

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(12月1日現在)

世帯数 3,963世帯  
人口 8,952人(+10)  
男 4,265人 女 4,687人  
----- (11月中) -----  
転入 20 転出 6  
出生 3 死亡 7

※住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日)により、外国人も含んでいます。

1月は、町県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

姉妹都市だより 長野県塩尻市

塩尻の冬の風物詩  
奈良井宿アイスクャンドル祭り

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「奈良井宿」には、江戸時代から明治時代にかけての面影を色濃く残す建築物が立ち並んでいます。冬の朝晩の冷え込みが厳しく、マイナス10度を下回ることもあります。「奈良井宿アイスクャンドル祭り」は、この寒さを利用して地域を盛り上げようと、地元有志により始まった催しです。情緒あふれる約1kmのまちに置かれた約1,500個のアイスクャンドルに火が灯され、幻想的な空間を醸し出します。豚汁のサービスや振る舞い酒など、心温まるおもてなしもあります。

昨年、木曽はさまざまな自然災害に見舞われました。「つながろう木曽」をテーマに、木曽11宿の一つである奈良井宿が、温かい光につつまれるこの日。南伊豆町の皆さんも、ぜひ塩尻にお越しください。

日時 2月3日(火) 18:00頃～  
問合せ 奈良井宿観光案内所  
☎0264-34-3160





## まちの人

伊豆最南端で働いています

小澤 <sup>たか ひろ</sup> 孝宗 さん (石廊崎)

石廊崎の先端にある石室神社が私の職場になります。毎朝神社に着くと、まずは朝拝という儀式を行います。儀式といっても常識的なもので、神様の周りをきれいにしてお供えをし、さらに祈りを捧げるというものです。訪れる参拝者が気持ち良く境内を過ごせるよう、清掃や祈祷の準備などを行います。

その後は境内のなかで、お守りやお札の頒布を行います。七五三や地鎮祭などの行事があるときは、兼務となっている湊地区の若宮神社にも出

向き、神様を奉ります。

職に就いた当初は、いろいろと思い悩むこともありましたが、仕事を通じてたくさんの人達とふれ合っていくうちにこの仕事に魅了され、今では誇りを持って職務に励んでいます。

石室神社の歴史は701年(大宝元年)からと、町内で最も古い神社となっています。雄大な景色を見渡すこともできる、すばらしいこの神社を、これからもっと多くの人たちに訪れていただけるよう努力していきたいと思います。

## 健康一口メモ

冬は特に注意！

ノロウイルスによる食中毒！



食中毒は夏だけではなく、冬にも多発しています。

きっちり手洗い

食中毒予防には手洗いが最も重要です。調理前、食事前、トイレの後には、石けんを良く泡立ててこすり洗いし、流水できっちりすすぎましょう。二度洗いするとより効果的です。

しっかり加熱

カキやアサリなどの二枚貝の内臓にはノロウイルスが蓄積することがあるため、生や半生で食べると食中毒にかかる可能性があります。しっかり中まで火を通して調理しましょう。

調理器具等の消毒

消毒には次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を用いましょう。アルコールや逆性石けんはあまり効果がありません。

問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

## スマイルキッズ



天神原 稲葉 <sup>てんま</sup> 天真 くん (1歳6か月)

「寒くてもお外で元気にあそぶよ！」

## 広報みなみいず 1月号

発行日/平成27年1月1日  
発行/南伊豆町 編集/企画調整課 印刷/㈱栄協  
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1  
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119  
ホームページ  
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は「広報みなみいず」を読んでいただきありがとうございました。私の今年の目標は、より多くの方に見てもらえるようにすることです。本年も「広報みなみいず」をよろしく願いたします。 (印)

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。